

2004年10月29日

# 2005年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社



TOKYO ELECTRON DEVICE LIMITED

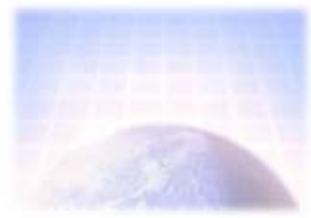
# 2005年3月期 中間期 業績



(単位:百万円)

科目	2004年3月期 中間期		2005年3月期 中間期		増減率 (%)
		百分比(%)		百分比(%)	
売上高	40,454	100.0	46,018	100.0	13.8
売上総利益	5,426	13.4	6,115	13.3	12.7
営業利益	1,349	3.3	1,758	3.8	30.2
経常利益	1,187	2.9	1,486	3.2	25.1
中間純利益	686	1.7	866	1.9	26.2
1株当たり中間純利益	29,854.62円		9,417.47円		
ROE	11.6%		13.2%		
従業員数	538人		552人		

\* 2005年3月中間期の1株当たり中間純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。



# 2005年3月期 中間期 資産

(単位:百万円)

科目	2004年3月期 中間期	2005年3月期 中間期	増減額
現預金	820	948	128
受取手形・売掛金	19,646	18,034	1,611
たな卸資産	12,943	13,249	305
その他流動資産	458	844	386
有形固定資産	327	368	41
無形固定資産	469	293	175
投資その他の資産	1,903	2,215	312
資産計	36,569	35,955	613

# 2005年3月期 中間期 負債・資本

(単位:百万円)

科 目	2004年3月期 中間期	2005年3月期 中間期	増減額
買掛金	7,184	7,996	812
短期借入金	4,500	1,000	3,500
その他流動負債	2,056	2,299	243
長期借入金	8,000	8,000	-
その他固定負債	2,851	3,263	412
負債計	24,592	22,560	2,032
資本金	2,495	2,495	-
資本剰余金	2,054	2,054	-
利益剰余金	7,426	8,845	1,419
資本計	11,976	13,395	1,419
負債・資本計	36,569	35,955	613

# 2005年3月期 中間期 キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

科 目	2004年3月期 中間期	2005年3月期 中間期	増減額
営業キャッシュ・フロー	730	2,663	1,933
投資キャッシュ・フロー	93	127	33
財務キャッシュ・フロー	299	2,227	1,928
現金等の増減額	337	310	27

# 2005年3月期 中間期 品目別売上高



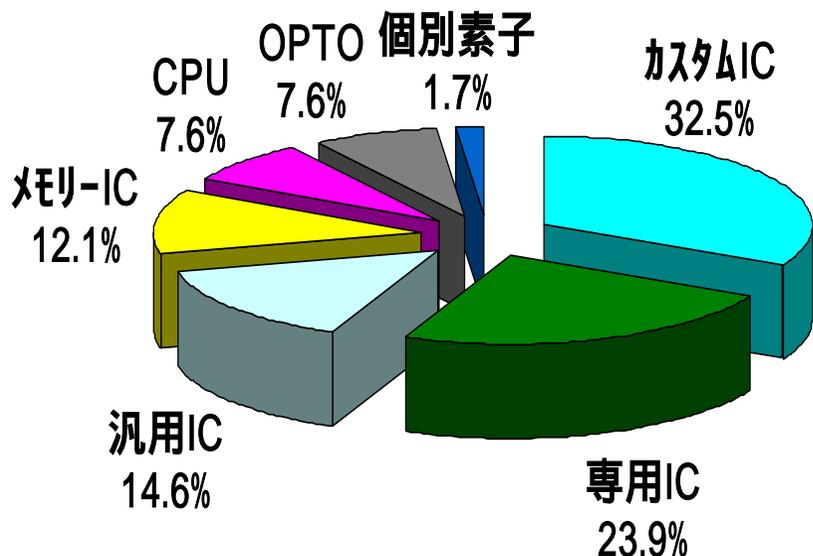
(単位:百万円)

品 目	2004年3月期 中間期		2005年3月期 中間期		増減額
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	
半導体製品	35,688	88.2	40,960	89.0	5,272
ボード製品	1,810	4.5	2,252	4.9	442
ソフトウェア	1,413	3.5	1,394	3.0	19
一般電子部品	1,542	3.8	1,411	3.1	131
合 計	40,454	100.0	46,018	100.0	5,564

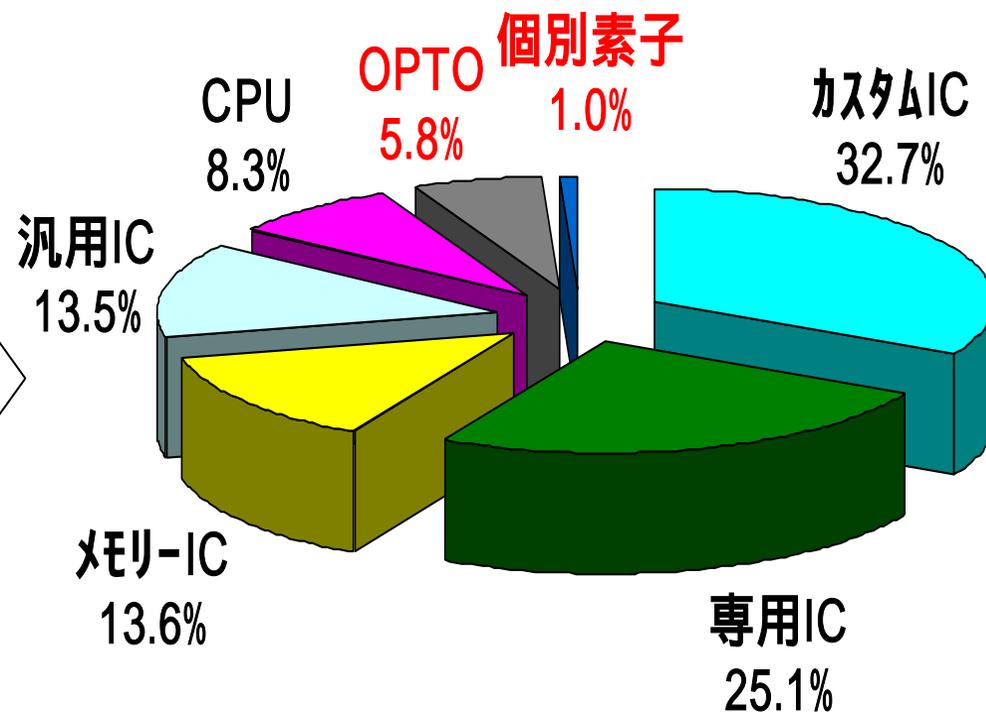
\* 品目についての説明は、P.11をご参照ください。

# 2005年3月期 中間期 半導体製品売上構成比

< 2004年3月期 中間期 >



< 2005年3月期 中間期 >

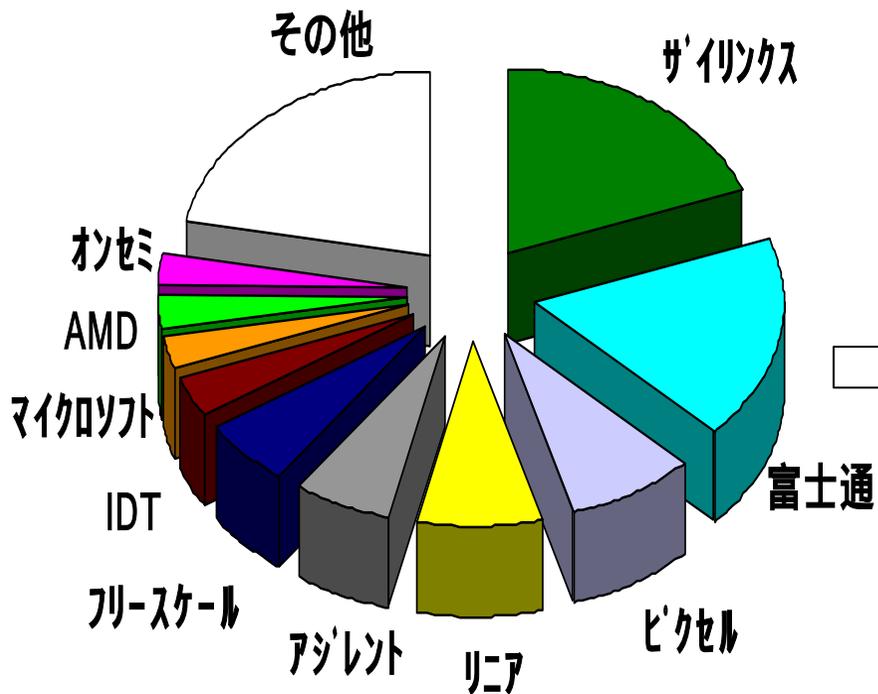


\* 品目についての説明は、P.11をご参照ください。

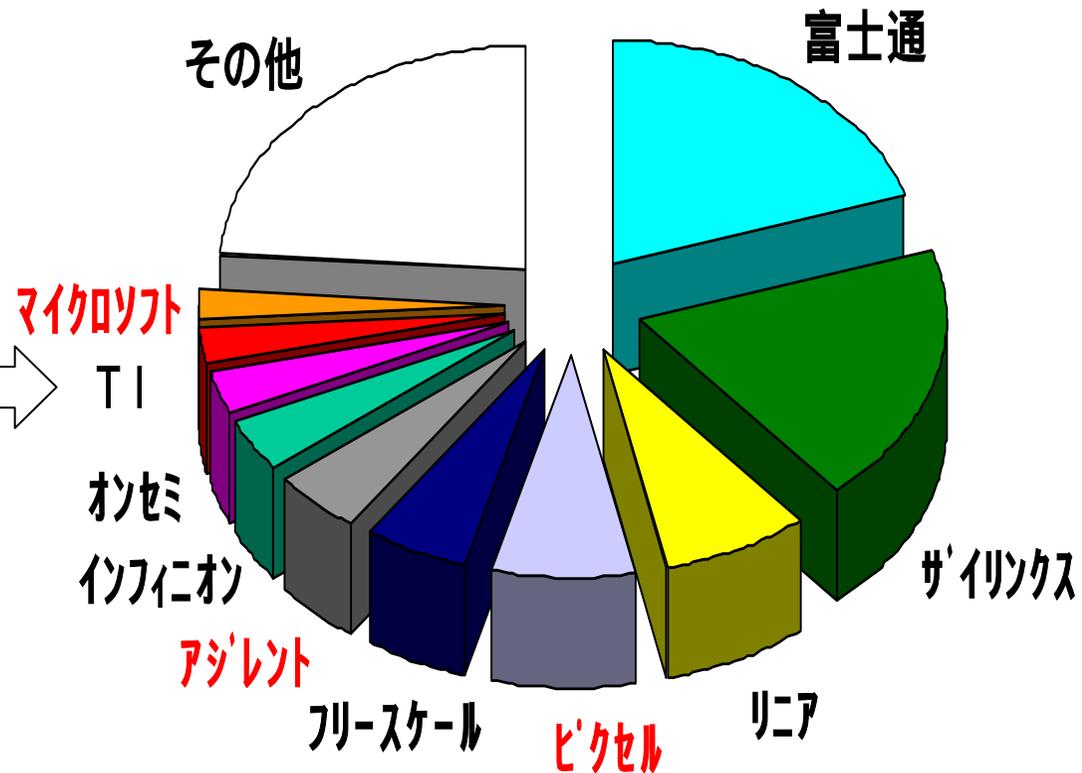
# 2005年3月期 中間期 商品別売上構成比



< 2004年3月期 中間期 >



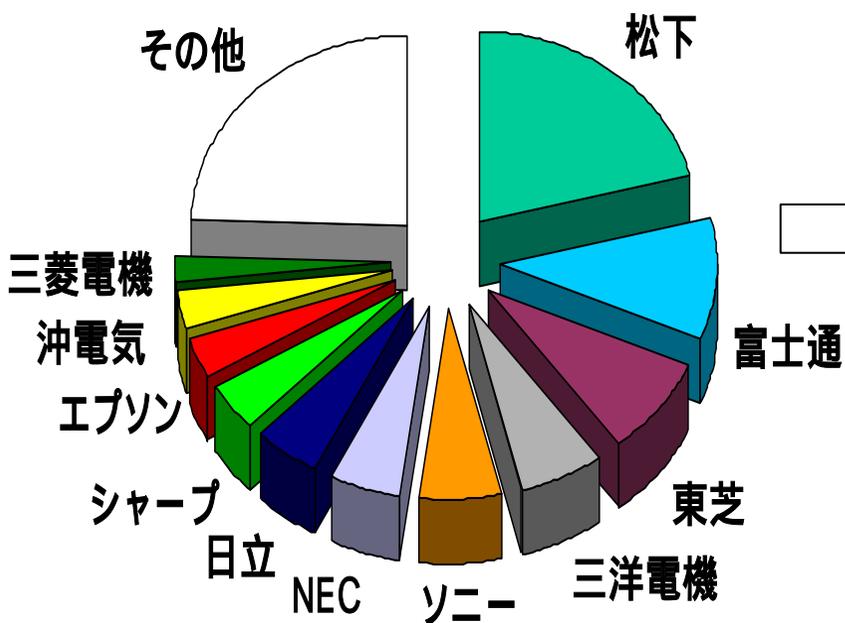
< 2005年3月期 中間期 >



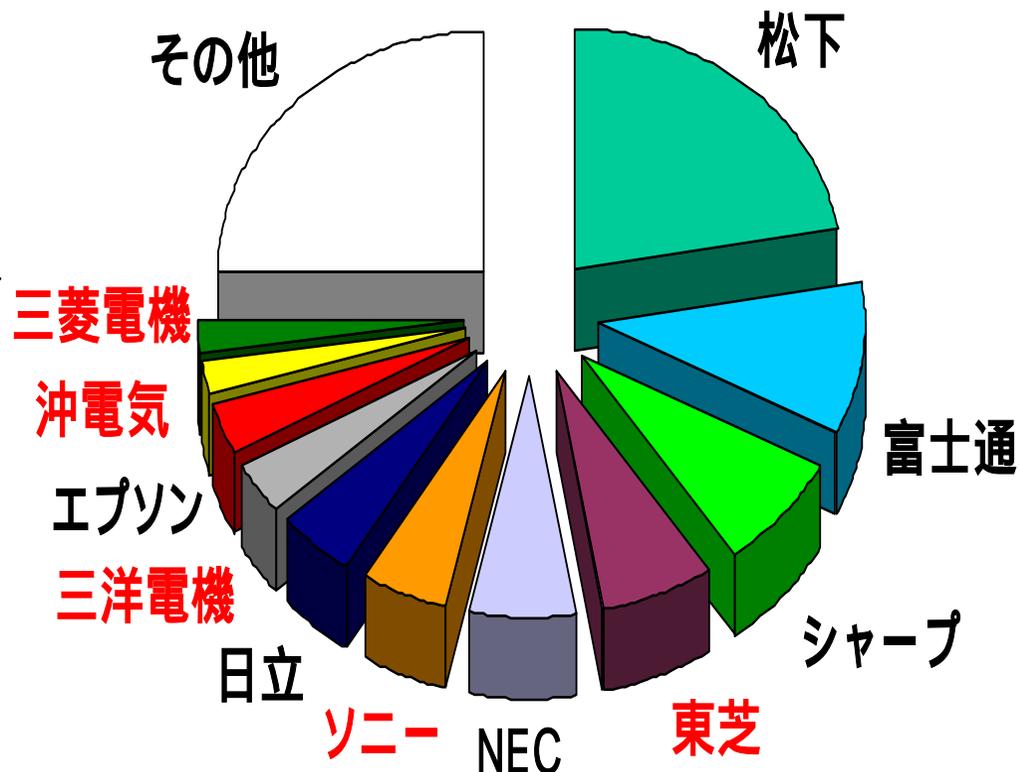
注) 社名は、敬称を省略し略称を使用させていただいております。

# 2005年3月期 中間期 顧客別売上構成比

< 2004年3月期 中間期 >



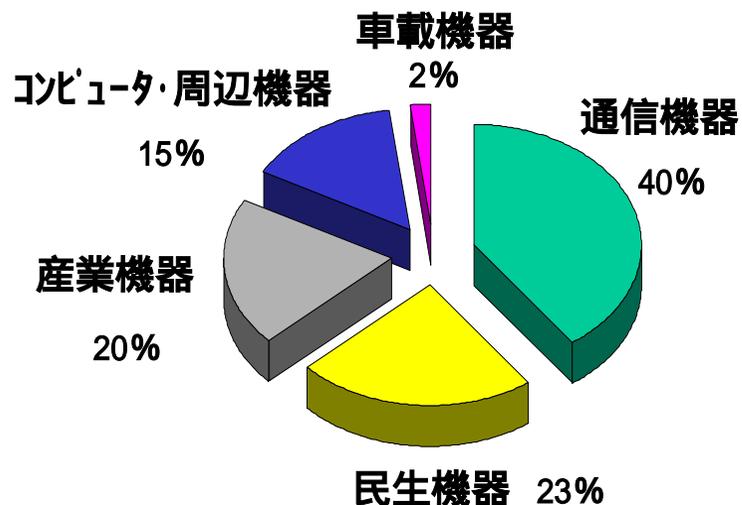
< 2005年3月期 中間期 >



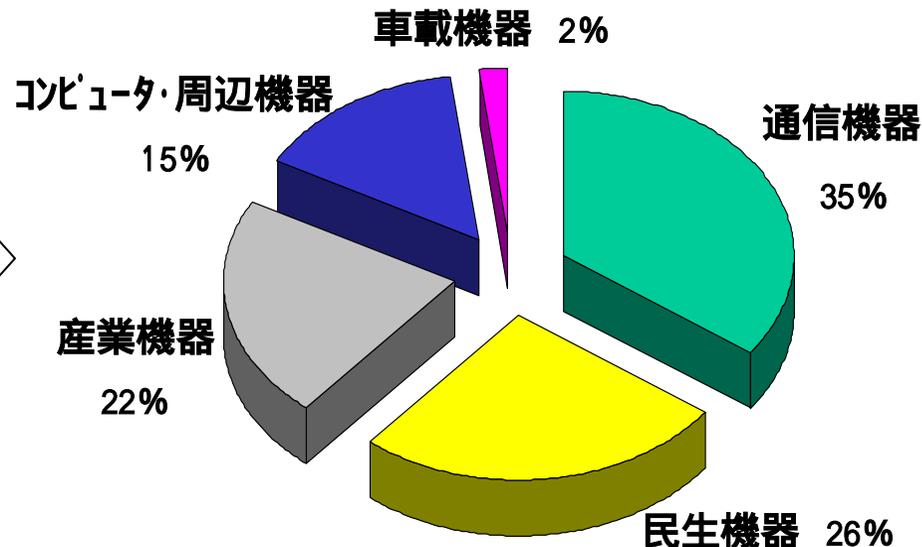
注) 社名は、敬称を省略し略称を使用させていただいております。

# 2005年3月期 用途別売上構成比

< 2004年3月期 中間期 >



< 2005年3月期 中間期 >



用途	主なアプリケーション
通信機器	ターミナルアダプタ、ケーブルモデム、携帯電話、ルーター、交換機、基地局
民生機器	デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、チューナー、液晶TV、プラズマTV、DVD
産業機器	セキュリティ監視機器、医療機器、放送機器、テスター、半導体製造装置
コンピュータ・周辺機器	プリンター、プロジェクター、POS、PC、ワークステーション、汎用コンピュータ
車載機器	カーナビゲーション、カーオーディオ



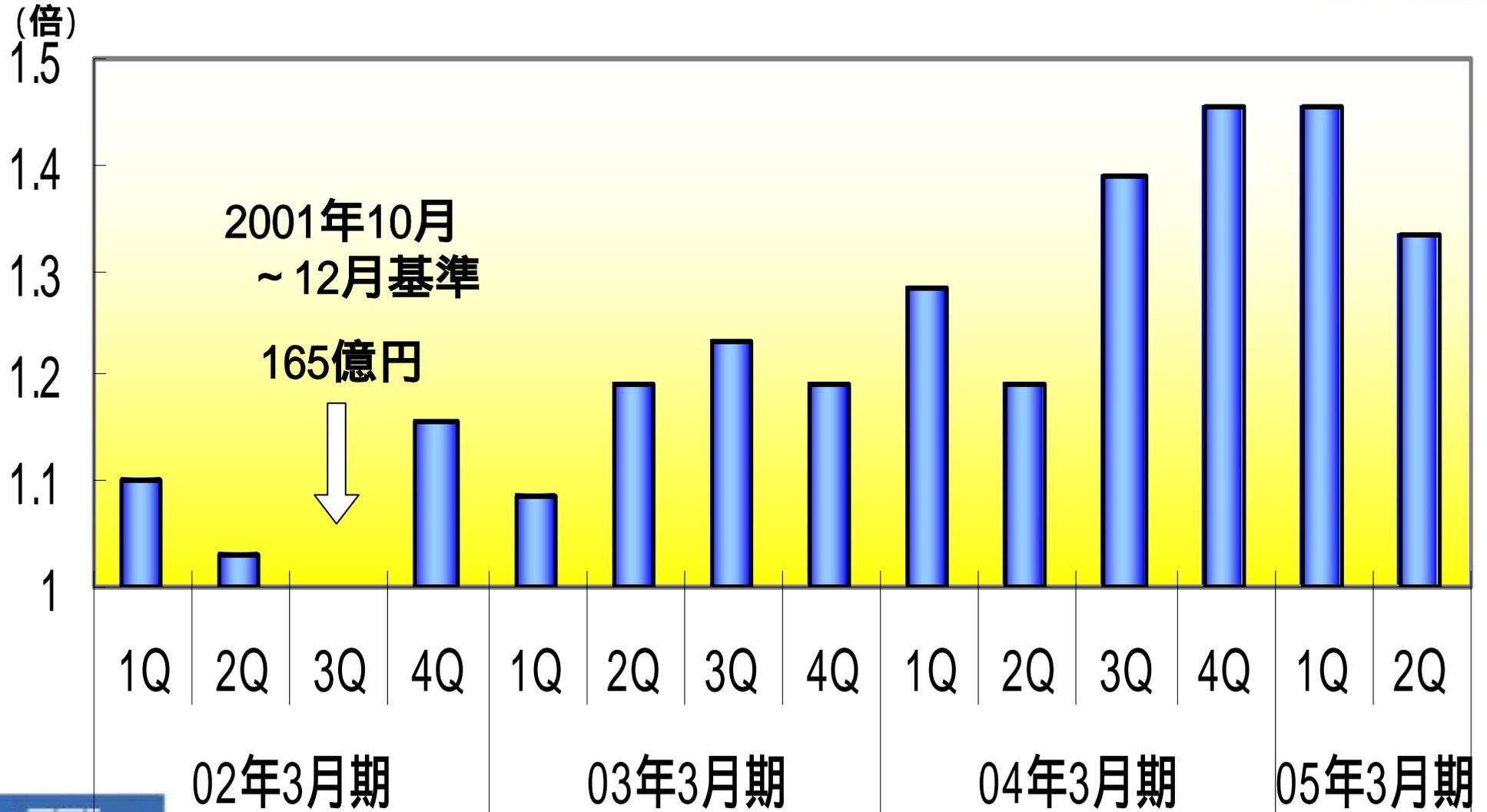
## 主要商品別 売上高増減比較

仕入先名	上期計画比 増減率	前年同期比 増減率	下期計画 上期比 増減率
富士通(株)	5%	27%	2%
ザイリンクス社	1%	11%	6%
リニアテクノロジー社	1%	14%	6%
ピクセルワークス社	2%	1%	3%
フリースケール・セミコンダクタ社	6%	14%	4%
アジレント・テクノロジー社	3%	19%	12%
インフィニオン社	11%	222%	19%
開発ビジネス	6%	27%	17%

上記見込みは、各仕入先の業績には連動いたしません。



# 受注变化推移





## 2005年3月期 業績予想

(単位:百万円)

科目	2004年3月期 通期	2005年3月期 通期予想	通期対前年 増減率
売上高	85,738	90,000	5.0%
経常利益	2,952	3,200	8.4%
当期純利益	1,680	1,850	10.1%
1株当たり当期純利益	35,991.94円	20,108.70円	
R O E	13.8%	13.7%	



## トピックス

### ◆株式分割

株式分割比率 : 1:2 (1株 2株)

割当て基準日 : 2004年7月31日

### ◆セールスオフィス2箇所開設

京都(4月) 浜松(9月)

香港駐在員事務所開設(6月)

開発ビジネスをブランド化(6月)

ISO14001取得(7月)



# 今期活動方針の進捗状況

## 営業拠点の拡充

京都、浜松にサテライトオフィスを開設

## 高付加価値商品の売上拡大

富士通(株) ASIC PDPテレビ、DVD、液晶テレビ  
ガイリンクス社 FPGA 液晶テレビ

## 開発ビジネスの体制強化

開発ビジネスをブランド化し新たにスタート



# 開発ビジネスについて



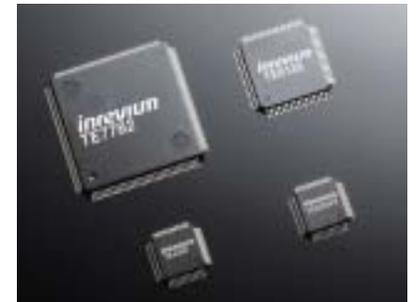
# 開発ビジネスをブランド化



# *inrevium*

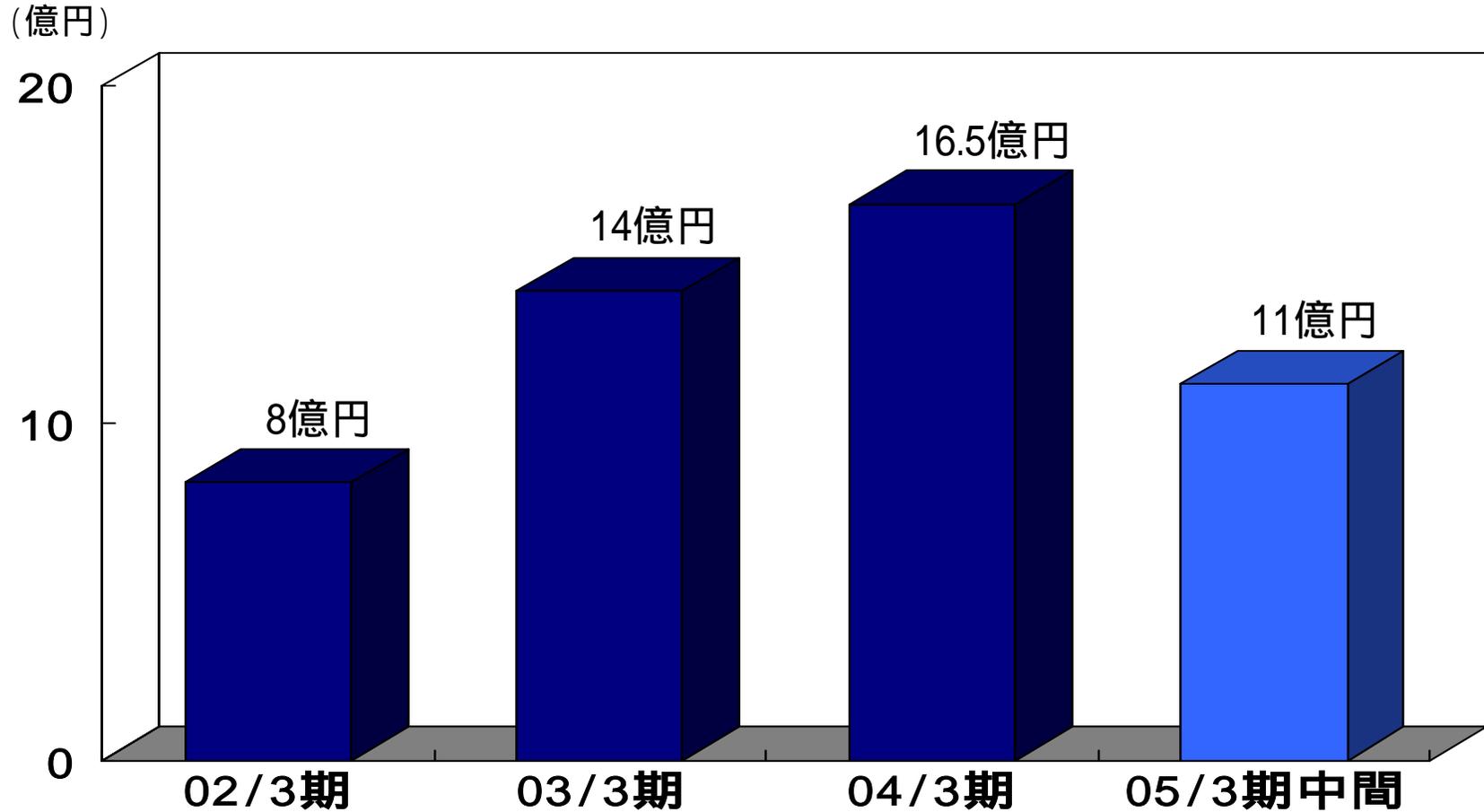
インレビウム

「Intellectual + Revolutionary + -iumの組み合わせ」  
知的な                      革新的な                      要素





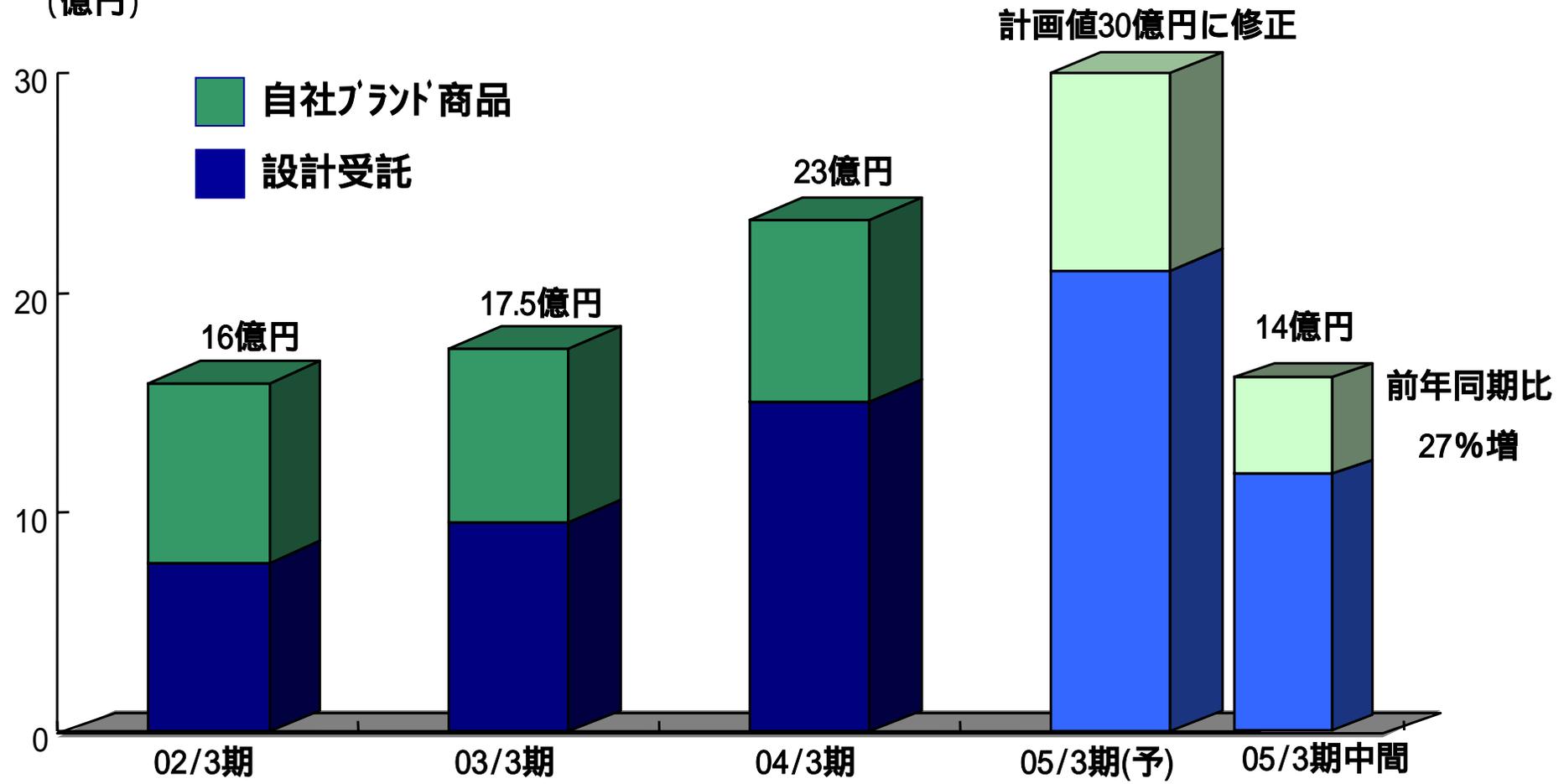
# 設計受託業務 受注額推移





# 開発ビジネス 売上高推移・計画

(億円)





## 資料取扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。



## 用語説明(1)

半導体製品	主な取扱商品	機能
カスタムIC	ASIC(富士通株) PLD(サイリンクス社)	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
専用IC	画像処理用IC 通信用・ネットワーク用IC	特定用途用に作られた専用IC
汎用IC	汎用リニアIC(アナログIC) 汎用ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
メモリIC	DRAM、SRAM フラッシュメモリ	記憶用IC、書込み、読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
CPU	マイクロプロセッサ、DSP	演算機能、電子機器の頭脳
光学部品	発光ダイオード、フォトカプラ	電気を光に変換して使用するIC
個別素子	整流素子、トランジスタ	増幅、整流などの機能を持つ部品



## 用語説明(2)

<p>ボード製品</p>		<p>プリント配線基板の上にIC、電源、コネクタなどの部品を実装した製品</p>
<p>ソフトウェア</p>		<p>マイクロソフト社の産業機器に組み込まれるOSを中心に販売(PC用以外)</p>
<p>一般電子部品</p>		<p>機器間を接続するコネクタやケーブル、液晶表示部品、電源など、電子機器には不可欠な周辺部品</p>

# 今期開発商品 (取扱い商品との組み合わせ例)

## プロジェクター用周辺制御IC

- ・ ピクセルワークス社 IC と組み合わせ最適機能化を図る
- ・ 周辺制御機能に、ウェイクアップ機能を加え、1チップ化
- ・ プロジェクタの省電力化が可能



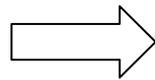


# 今期開発商品(保有技術活用例)

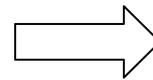
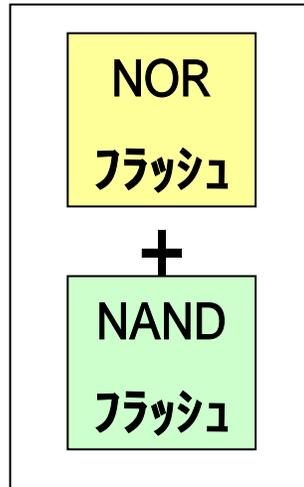
## ブート機能付NANDフラッシュ メモリ制御用IP

・携帯電話例

<カメラなし>



<カメラ付>



<カメラ付ブート機能あり>

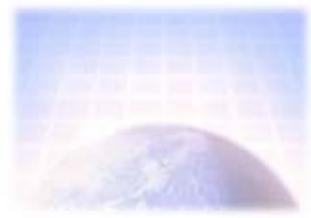


- ・機能 : NANDフラッシュメモリでNORフラッシュメモリの機能を発揮
- ・メリット: 安価になる、基板スペースの節約、実行速度が早くなる
- ・デジタルカメラに採用が決定



デジタルカメラ





## 今期開発商品(産学連携例)

### FPGAトレーニングキット

#### 教育用FPGAボード

- ・FPGAの回路設計学習に必要な機能を全て用意
- ・大学や企業のニーズに低価格で対応



+

ザイリンクス社  
開発ツール

TD-BD-TS101